

ジーテクトが考えるCSR

代表取締役社長
社長執行役員 **高尾 直宏**



昨今、人々のライフスタイルやクルマに対する価値観や概念が大きく変わり、また、今年に入ってから新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、私たちの生活は否応なく一変しました。我々が暮らす社会は確実に変化し続け、それが不可逆であることを実感しています。つまり時代の変化、価値観の変化によって、これまで当たり前と思っていたことが10年後もそうであるとは限らないということです。企業もそれに伴うビジネスモデルの変革を求められています。時代の先を読み進化を遂げられない企業は生き残れないことを意味しています。

自動車産業は現在、CASEやMaaSと言った技術革新により大変革期を迎えています。今回の新型コロナウイルスによる世界経済および、当社の業績への影響は甚大ですが、ジーテクトはこれからも軽量高剛性でコスト競争力の高い車体を実現するため、研究開発を強力に進めてまいります。その為の対応として、これまで技術本部内に籍を置いていた開発部を4月から開発本部として独立させました。研究開発力を更に高めることで、時代の先を行く高性能な車体を積極的に提案していきたいと思っております。

一方、どれだけ時代が変わっても、人や地球環境にやさしい世の中でなければ持続可能な社会とは言えません。今回の新型コロナウイルスに人々が力を合わせて立ち向かう姿は、私たちに勇気と希望を与えてくれました。企業の成長を支えるのも人であり、革新的な技術を生み出す源泉も人です。つまり、常に人が主役であるということです。不確実な時代にこそ、重要なのは自ら課題を解決し未来を切り開こうとする強い思い、つまり情熱を持った人財です。当社のマテリアリティ（重要課題）の一つに「人財育成」を挙げておりますが、引き続きグローバルで活躍できるスキルと情熱を兼ね備えたジーテクトらしい人財を、私も一緒になって育成してまいりたいと思っております。

また、地球環境に対する取り組みですが、ジーテクトでは社内に専門部署および環境推進委員会を設け、グループ全体で環境に配慮した経営に力を入れてまいりました。そのような中、今般WB2℃（Well Below 2 Degrees）水準をターゲットに、SBT(Science Based Target)に準拠した温室効果ガス削減目標を新たに取り入れることを決定いたしました。現在、情報開示に向けて準備を進めているところです。

最後になりますが、ジーテクトは今年で創立10周年を迎えることが出来ました。

これまでご支援いただきましたステークホルダーの皆様へ、この場を借りて厚く御礼申し上げます。ジーテクトはこれからも技術力と人財を核として、持続的な成長と進化を遂げていくと共に、本業を通じて積極的に社会課題の解決にも取り組んでまいりたいと思います。

ステークホルダーの皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
社長執行役員

高尾直宏

関連コンテンツ

中長期ビジョン

企業理念

行動指針